※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１０

令和５年度　美術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	WATCH2 イマジネーションの旅　（秀学社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎的な造形要素（素材・形態・色彩・構成）の実習をすることで素材や技法の特質、また具象・抽象形態や色彩の運用方法を理解し、表現力を付けていく。さらに、多様な美術作品を鑑賞し、美的体験を豊かにしていく。

2　学習の到達目標

美術・造形の基本的な構成要素を理解し、習得した技法を表現に活かせるようになる。
造形的な良さ、美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きについて考え、主題を生成し、価値意識を持って見方や感じ方を深める。
主体的に美術の幅広い創作活動に取り組み、美術文化に親しみ心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	素材の特質を理解するとともに、それを活かした技法を習得している。 色彩理論など造形要素についての知識を理解している。 鑑賞においては、作品の美を発見し味わうための方法を習得している。また鑑賞する作品の制作背景など美術史の知識について理解している。	作品のテーマや条件について考え、それらの特質を活かし独自の発想を練ってよりよい表現を追求している。 制作過程での様々な判断を通して知識・技能を活かした表現に結び付けられる。 鑑賞においては美術作品のよさや面白さについて考え、自分の感想や意見を述べられる。	作品をつくることや鑑賞活動に興味をもち、主体的に取り組んでいる。 与えられた課題を受身的にこなすだけでなく、その条件下でのよりよい表現を主体的に追求している。 落ち着いて根気よく作品に取り組み完成に向けて努力している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	平面造形基礎1	「グレースケールと幾何形体想定描写」 色彩理論での明度の理解と応用また鉛筆の表現技術を学ぶ。	a: 陰影による立体感や色彩の関係について学んだことを作品に生かしている。鉛筆の使い方を工夫している。 b: 色の明度の階調の観察や判断を的確に行なっている。 c:明度階調や立体感を表現することに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
	平面造形基礎2	「ハイコントラスト・イラスト」 平面資料の模写技術と色彩の明度対比の応用、また不透明水彩絵の具の技術を学ぶ。	a: 観察と描写の技術を理解し応用している。色彩について学んだことを作品に生かしている。不透明水彩絵の具の技術を習得している。 b: 作品を美しい仕上がりにするための技術的な判断を的確に行なっている。 c: 観察によるリアルな表現や色の効果に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
	鑑賞	「人物画の美術史」 人物画の系譜に焦点を当て美術史・鑑賞を学ぶ	a: 美術鑑賞の基本的姿勢や作品を味わう技術を学ぶ。美術史上の人物画にまつわる知識を得る。 b:表現上の特徴や作者の制作意図を洞察でき、感想を表現できる。 c: 鑑賞や美術史に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察
	立体造形1	「一筆描きワイヤーアート」 美術史上の人物画から形態を抽出し、自立する立体造形作品を制作する。	a: ドローイングとアルミ線の特質を理解し、作品を美しく仕上げている。 b:立体的な構造を考えながら、アルミ線をどのように活用するか、独自に発想を練っている。 c: 美術史上の名作絵画や立体造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

二学期	平面造形基礎3	「鉛筆デッサン」 対象の把握と表現を学ぶ。	a: 鉛筆デッサンにおける観察・表現の技術を習得し、独自に工夫している。 b: 対象の構造・量感・質感の把握や鉛筆による表現のための判断を的確に行なっている。 c:対象の観察や表現に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
	立体造形2	「二次元素材による立体造形」 紙材料を用いて、自立する立体造形物を制作する。	a: 紙材料による立体造形の特質を理解して制作している。 b:立体的な構造を考えながら、紙材料をどのように活用するか、独自に発想を練っている。 c:立体造形に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
	平面造形基礎4	「パターンデザイン」 単純な形態の反復・集積と、色彩の色相対比の応用によるパターン模様のデザイン。	a: 単純な形態の反復・集積の技術を理解し応用している。色彩について学んだことを作品に生かしている。不透明水彩絵の具の技術を習得している。 b: 作品を美しい仕上がりにするための技術的な判断を的確に行なっている。 c: パターンデザインによる表現や色の効果に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
三学期	木工芸・デザイン	「バターナイフ」 木工芸技法により実際に使用できる器物をデザイン・制作する。	a:木工芸（カーヴィング）技法の特質を理解し制作技術を習得する。 b: 作品を美しい仕上がりにするための技術的な判断を的確に行なっている。また作品の用途を想定した構想を行えている。 c: 木工芸や器物のデザインに興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	作品 観察	作品 観察	作品 ワークシート 観察
	鑑賞	「美術史通史」 美術史を概観して学ぶ	a: 美術鑑賞の基本的姿勢や作品を味わう技術を学ぶ。美術史上の作品にまつわる知識を得る。 b:表現上の特徴や作者の制作意図を洞察でき、感想を表現できる。 c: 鑑賞や美術史に興味をもち、意欲的に取り組んでいる。	ワークシート	ワークシート 観察	ワークシート 観察

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度